

かながわの交通

2021
6月号

交通安全年間スローガン受賞作品（内閣府特命担当大臣賞）
～こども部門～ 中学生以下への交通安全を呼びかけるもの

じてんしゃと いつもともだち へるめっと



第51回二輪車安全運転神奈川県大会 （横浜市旭区）



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況（令和3年5月末現在） ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
令和3年		8,768	45	10,081
令和2年		7,708	61	8,989
増減数		+1,060	-16	+1,092
増減率		+13.8%	-26.2%	+12.1%

	総 数	男	女
県人口	9,216,009	4,592,141	4,623,868
免許人口	5,646,854	3,213,565	2,433,289
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は令和2年9月1日、免許人口は令和3年4月末現在)



ホームページ

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰

交通安全功労者、優良交通安全協会、交通安全協会優良職員に対する関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名の被表彰者が決定しました。

なお、5月21日(金)埼玉県さいたま市内の表彰式は中止となりました。本県の受賞者(団体)は次のとおりです(敬称略)。

受賞おめでとうございます

● 交通安全功労者 (関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

依田龍治(伊勢佐木)三石孝司(戸部)内倉忠勇(港南)神田国男(青葉)川邊重男(戸塚)中野君夫(泉)原田龍次郎(横浜水上)須山康成(川崎臨港)持田知介(高津)鮫島 隆(宮前)小倉勝義(多摩)大串勝彦(葉山町)石原 正(大船)山口幸雄(藤沢市)福室詔子(藤沢北)小巻賢一(平塚市)力石邦男(小田原)田代 清(足柄)小泉 勉(秦野市)望月 治(伊勢原)大貫和美(厚木警察署管内)高橋美知雄(大和綾瀬)清水 譲(海老名市)榎本雪夫(相模原北)山口勝利(津久井)

● 優良交通安全協会 (関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

- 都筑交通安全協会(会長 加藤恒雄)
- 泉交通安全協会(会長 八卷裕仁)
- 宮前交通安全協会(会長 山根文男)
- 海老名市交通安全協会(会長 佐久間幸志)

● 交通安全協会優良職員

(関東交通安全協会連合会会長表彰)

猪股 衛、久門清美(保土ヶ谷)紺野敏秋(川崎臨港)
東正人(麻生)千葉重光(横須賀)荻野 昭(浦賀)
竹田真知子(藤沢北)小島好行、小菅 愛(大和綾瀬)



九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間の結果

令和3年5月1日(土)から31日(月)までの1ヶ月間、「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」を実施しました。

月間に、新型コロナウイルス感染症対策の影響で街頭キャンペーン等が中止になる地区もありましたが、各地域において自転車利用者の交通ルールの遵守とマナーの向上について、地元警察と連携し交通事故防止の各種広報啓発活動を行いました。



自転車マナーアップ キャンペーン



(戸部交通安全協会)

(厚木警察署管内交通安全協会)

■ 県内の自転車交通事故発生概況 (5月末)

	自 転 車 事 故		
	発生件数	死者数	負傷者数
令和3年	2,251件	3人	2,142人
令和2年	1,795件	3人	1,745人
増減数(率)	+456件(+25.4%)	±0人(±0%)	+397件(+22.8%)
構成率	25.7%	6.7%	21.2%

※ 構成率は、令和3年交通事故累計(概数)に占める自転車事故の割合を示す。

「第51回 二輪車安全運転神奈川県大会」開催結果

5月22日(土)神奈川県警察運転免許センターで「第51回二輪車安全運転神奈川県大会」を万全な感染症対策のもと開催しました。

開会式では、本大会 菅原副会長、県警察本部 清水交通部長の挨拶、主任審判員による競技説明に続いて、選手を代表してAクラスに参加する中島健三郎選手が「日頃の安全運転技術を発揮します」などと選手宣誓を行った後、A、Bの各クラス別に分かれ、45名の参加で法規履行走行とコーナーリングやスラローム等を課題とする技能走行を競いました。

各選手は、より上位入賞を目指して練習してきた運転技術を披露しました。

競技の結果、各クラス優勝者の中で最高成績を収めた個人総合優勝者には、Bクラス佐藤正章選手が輝きました。

クラスごとの入賞者は次のとおりです(敬称略)。

個人総合優勝 佐藤正章

● Aクラス

(51cc以上 400cc以下)

- ・優勝 小林健一
- ・第2位 加藤由貴子
- ・第3位 石坂欣治

● Bクラス

(401cc以上)

- ・優勝 佐藤正章
- ・第2位 計良仁
- ・第3位 保志場裕



(向かって右から優勝者の佐藤さん、小林さん)

優良二輪車安全運転指導員表彰

第51回二輪車安全運転神奈川県大会の当日、長年にわたり二輪車安全運転の指導員として、二輪車の交通事故防止に貢献された二輪車安全運転特別指導員の小倉剛さん、北小路結花さん、石井孝行さん、二輪車安全運転指導員の高柳英樹さん(写真)に、(一財)全日本交通安全協会からの楯と記念品、神奈川県二輪車普及安全協会からの記念品が贈られました。



(向かって右から 北小路さん、石井さん、小倉さん、高柳さん)

新任事務長紹介 ~ よろしくお願ひします ~

(一財)鎌倉交通安全協会 築花 邦和 事務長

令和3年4月に鎌倉交通安全協会の事務長に就任致しました
築花邦和と申します。

経歴といたしましては、昭和53年に県警察官を拝命し警察人生の
多くは交通部門で勤務し、平成28年3月に定年退職を致しました。

定年退職してから平成28年4月に県の交通安全協会において
更新時講習課長として5年間勤務した後に、鎌倉交通安全協会事務長に就任した次第です。

鎌倉は一年を通して観光客が多く、祭礼・花火大会・カーニバル等各種イベントが開催され、交通事故も多発しております。悲惨な交通事故を減少させるため、鎌倉警察署、県交通安全協会等からご指導いただきながら、鎌倉市交通安全対策協議会等の関係機関と密接な連携を図り、鎌倉管内の交通安全確保のため積極的に取り組んでいく所存です。

今後ともよろしくお願ひいたします。



令和3年度 使用交通安全スローガンポスター

～神奈川県の伊藤文人さんの作品が入賞～

- ◎ 内閣総理大臣賞（最優秀作）
運転者（同乗者を含む）へ
呼びかけるもの

- ◎ 佳 作
歩行者・自転車利用者へ
呼びかけるもの



「自転車損害賠償保険等の加入」が 神奈川県自転車条例で義務化されています

県内では自転車と歩行者の関係する交通事故が増加しており、重大な事故も発生しています。また、全国では自転車事故の加害者に対し高額な損害賠償を請求される事例もあります。

自転車の安全で適正な利用と自転車事故の被害者を速やかに救済し、加害者の経済的負担を軽減するため、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が制定され2019年4月から施行されました。



自転車事故の高額損害賠償の判決事例

約9,500万円（平成25年7月神戸地方裁判所）

小学生が歩行中の女性と衝突し、女性の意識が戻らない状態となった。
監督責任を問われた母親に損害賠償が命じられた。

- ※ 子供が自転車を運転する場合も保護者が加入しましょう。
- ※ 事業者も、その事業活動の用に供する自転車の利用に係る自転車損害賠償保険等に加入しなければなりません。

《自転車会員入会およびサイクル安心保険加入のご案内》

全日本交通安全協会では「自転車利用者の交通安全意識を高め、自転車による交通事故を防止し、自転車の安全利用の実現に寄与することを目的として自転車会員制度」を行っております。

自転車会員は、自転車利用に関する情報の提供を受けられる他に、会員専用の団体保険制度「サイクル安心保険」へもご加入いただけます。

サイクル安心保険・補償額は最高3億円

- 申込み等詳細は、一般財団法人全日本交通安全協会ホームページをご覧ください。



交通事故の悲劇に学ぶ ⑨

●「戻せない時間」

会社員(29歳)

当時の自分は交通違反を罰金や点数を引かれるくらいだと安易に考えていたため、まさか自分が刑務所に入るとは夢にも思っていませんでした。

ある年の7月、仕事帰りにスポーツバーへ行き、友人達と日付が変わるくらいまで遊んでいました。

自宅への帰り道は仕事や遊びの疲れもあって注意力が散漫となり、前方をよく見ていました。そのため突然左側に人影が見えたのですがブレーキをかける間もなく、左ミラーで接触してしまいました。

その時、自分の中で「逮捕される」「怖い」とか、「まさかこの時間帯で歩行者がいる訳がない」など、あれこれ自分に都合よく考え、その場から逃げてしまいました。

自宅に帰ってから車の破損状況を見て「多分相手も大きな怪我はしていないだろう」と、再び自分の都合の良いように考えました。

しかし、朝方父親から電話があり、「昨日お前どこに行った」とか「警察の人が来て、お前を捜している」と言わされたので、相手の方に大きな怪我をさせてしまったと思い、警察に出頭しました。

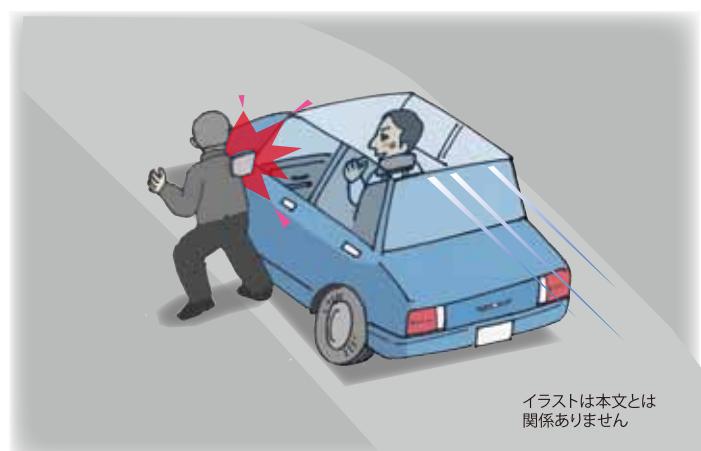
警察署で事情聴取が行われ、その時、警察の方から「相手の方が亡くなりました」と聞かれ、頭の中が真っ白になりました。そして逮捕状を見せられ手錠をはめられた時に、自分は取り返しのつかない大変なことをしましたと実感しました。私は留置場で約25日間過ごしましたが、その間、「なぜ事故後に車を止めて救護しなかったのか」とか「仕事もクビになり家族にも迷惑をかけてしまった」と自分を責め続ける日々でした。

保釈された後、御遺族の家で父と私の2人で謝罪と線香をあげさせていただけたことになりました。

「いきなりのこと、悲しみも怒りもどこにぶつけてよいかわからない」と泣きながらおっしゃる御遺族の方に、私と父はひたすら謝罪を続けていました。

御遺族からは「なぜ逃げたのですか」とか「どうして助けてくれなかったのですか」と問われ、言葉に詰まりましたが、「怖かった」、「捕まりたくない」とその時の気持ちを正直に答えました。御遺族の方は冷静に聞いていましたが、内心の怒りや悲しみにじっと耐えていたように見えました。

私には過失運転致死傷と道路交通法違反で懲役



イラストは本文とは関係ありません

2年の実刑判決が言い渡されました。刑務所に入ったことで、自分がいかに今まで好き勝手に過ごし、無責任なことばかりしていたのかを実感することができました。そして市原刑務所で被害者の視点を取り入れた教育を受ける中で気付いたことは、御遺族の苦しみや悲しみはこれから先いつまでも続き、一生癒えないということです。そして、私が起こした交通事故によって御遺族の生活が一変したという厳しい現実を学ぶことができました。

私は刑期が終わればまた普通の生活を送れるかもしれません。しかし、御遺族の方はいつまで経ってもこれまでの生活に戻ることはできません。私は御遺族に対して一生償いを続けなければならないと思っています。そして、これから先も御遺族に対する償いや責任の取り方を考え続け、一生をかけて償いや責任を果たさなければなりません。

交通事故は自分だけでなく、周りの人の生活にも関係してきます。大切な人を悲しませたり、人の一生を一瞬にして変えてしまうことを認識して下さい。「誰も見ていないから」と安易な気持ちから交通違反を犯し、人を傷つけければ多くの人が悲します。事故を起こしてから後悔しても人の命は二度と戻ることはありません。どうか交通ルールを守り大切な命を守って下さい。

私の過ちによって大切なご家族を失った御遺族のように、悲しみに暮れる方がこれ以上増えないよう願っております。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第55集)」から～

イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

- 夏の交通事故防止運動 ━━━━━━━━ 7月11日(日)～20日(火) 各地区
- 表彰審査会 ━━━━━━━━ 7月16日(金) 県安協会館

この人 182



小林 壽志さん
こばやし ひさし
会長 逗子市交通安全協会



こんにちは (一財)横須賀交通安全協会です

横須賀交通安全協会は、昭和15年に発足して今年で81年になります。横須賀市の年間の交通事故による犠牲者は、市の人口が約28万人(現在約39万人)であった昭和24年の74人が最多でした。

その後のピークは、昭和44年の52人で、全国的に多発したいわゆる交通戦争と呼ばれた時代であったようです。以後、車や道路、医療などの発展とともに、警察をはじめ、関係機関、団体や地域の皆様による様々な交通安全活動が長年にわたって行われてきたことが、漸く近年の交通事故減少にあらわれているようです。

横須賀警察署管内の交通事故

逗子市交通安全協会は、昭和28年4月に設立され、今年で創立68周年を迎えました。今回は、当協会の7代目会長、小林壽志さんを紹介します。

会長は、協会設立の1年前JR東逗子駅が開設された年に誕生しました。

青い海とみどり豊かな自然の中で、輝く太陽のもと、お父様が地域のボランティア活動を積極的に行っている姿を見ながらすくすくと育ち、昭和54年26歳の若さで逗子市の交通指導員、平成4年に県の交通指導員となり現在まで42年間地道な活動を続けています。

その後、昭和60年に理事、平成19年に副会長、平成21年に会長となり協会の運営にも携わり、地域の交通安全のために日々貢献しています。

また、会長職の他にも逗子市交通安全対策協議会副会長、逗子地区地域

交通安全活動推進委員協議会会長、行政相談員、青少年指導員等いくつもの役職を兼任しつつ鉄工所を経営しながら多忙な毎日を送っています。

温厚で真面目、誠実な人柄で、小林会長の素晴らしいところは、会長としての表の顔ばかりでなく、裏方の仕事も嫌な顔ひとつすることなく、きちんとこなすところです。

最近はご自身の健康のため車での移動をなるべく控え、自転車で逗子の町を走っているそうです。

会長には、公私ともお忙しい日々を送られておりますが、今後も健康に留意され、地域の交通安全のため、益々のご活躍を願っております。

(取材協力：逗子市交通安全協会)

発生数も、ここ5年間は700件台でしたが、昨年は474件と大幅に減少し、犠牲者も5人以下で推移しています。

しかし、今も交通事故による犠牲者が出ていますし、就中、高齢者が関わる交通事故が全体の40%台と高い割合で推移しているので、今後も高齢者と子どもの交通事故防止を最重点に取り組んで参ります。

協会事務所は、平成28年に横須賀警察署敷地内的一角に移転しました。事務所の北東側は横須賀港の新港地区国際ふ頭で、輸出車両の積み出し(年間約7万台)、外国船による輸入冷凍マグロの荷揚げ(年間約1.3万トン)



などが行われています。

また、本年7月1日から国際ふ頭と新門司港(北九州市)を結ぶ新規開設航路フェリーが就航します。2隻の大型フェリーで週6日運航されますが、周辺の今後の交通事情の変化に关心を持たれるところです。

(千葉 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



横須賀 コースカベイサイド前広場での交通安全キャンペーン



鶴見駅東西通路での交通安全キャンペーン



戸 部 横浜駅東口前での交通安全キャンペーン



保土ヶ谷 保土ヶ谷駅前での交通安全キャンペーン



海老名市 警察署前での交通安全キャンペーン



いずみ野駅周辺での交通安全キャンペーン



都 築 北山田駅前での交通安全キャンペーン



春野東 北地区での通学児童に対する保護誘導活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- E N E O S(株)根岸製油所環境安全グループ 横浜市磯子区鳳町
 - (株)ソリューション東日本 横浜市西区みなとみらい
 - トヨタカドーラ横浜(株) 横浜市中区長者町